

環境マインドを持った次世代の育成に向け 『コカ・コーラ環境フォーラム 2008』開催!!

日程:2008年8月23日(土)、24日(日)

場所:北海道栗山町、札幌市



財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、8月23日(土)と24日(日)の2日間、北海道夕張郡栗山町および札幌市で「コカ・コーラ環境フォーラム 2008」を開催しました。同フォーラムは、次世代リーダーの育成を目的に①環境教育に関する活動が顕著である団体・個人を顕彰する「コカ・コーラ環境教育賞表彰式」、②環境教育実践施設として再生中の廃校、「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」を拠点とした自然体験プログラム、③「環境マインドを持った次世代リーダーの育成」をテーマに、東京学芸大学とのコラボレーションによる公開シンポジウムの3部構成で行われました。コカ・コーラ教育・環境財団が青少年に対して環境教育を実践するフィールドとして選んだ北海道で初めて開催された同フォーラムは、初日の環境教育賞表彰式および自然体験プログラムに約130名の参加者、2日目の公開シンポジウムに約250名のお客様にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。

【第15回コカ・コーラ環境教育賞表彰式】

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、全国から推薦された環境教育活動に携わる133組の団体・個人から特に顕著な活動を行っている10団体を選出し、8月23日(土)に総合福祉センター「しゃるる」(北海道夕張郡栗山町)で、第15回コカ・コーラ環境教育賞表彰式を行いました。表彰式では、コカ・コーラ教育・環境財団の縄英明理事長より、楯と副賞を授与。また、受賞団体を代表して、仙台市立八木山南小学校(宮城県仙台市)、片瀬少年少女探検隊(神奈川県藤沢市)、および愛媛県立松山工業高等学校(愛媛県松山市)の3団体が活動発表し、取り組み事例を報告しました。



第15回コカ・コーラ環境教育賞表彰

【自然体験プログラム】

8月23日(土)の表彰式終了後には、NPO法人雨煙別学校のスタッフの指導のもと、受賞者の代表者と子供たち、今回の環境フォーラムの運営協力に携わった東京学芸大学、東海大学および同志社大学の学生が3チームに分かれ、自然体験プログラムに参加しました。参加者は、再生中の廃校、「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の裏庭で「薪小屋づくり」を实践したほか、湯地の丘自然農園での「ジャガイモ掘り」、ポンウエンベツ川での「水生生物調査」の3種類のプログラムに参加。コカ・コーラ教育・環境財団は、同プログラムを通じて、受賞団体の子供たちの自然や環境への理解を深め、今まで以上に環境を大切にする心を育みました。

- ① 廃校再生プロジェクトへの参加とチームワーク形成を目的とした「薪小屋づくり」
- ② 自然環境と農業との関わりの学習を目的とした湯地の丘自然農園での「ジャガイモ掘り」
- ③ 地域を流れるポンウエンベツ川の水質保全を高めることを目的とした水生生物調査



薪小屋づくり



ジャガイモ掘り



水生生物調査

【公開シンポジウム】

コカ・コーラ教育・環境財団は、東京学芸大学とともに、8月24日(日)に道新ホール(北海道札幌市)にて、「環境マインドを持った次世代リーダーの育成」をテーマに公開シンポジウムを開催しました。

同シンポジウムは、基調講演、特別講演およびパネルディスカッションの3部構成で実施。特別講演では、ドラマ「北の国から」の脚本家として有名な倉本聰氏を迎え、ご自身が塾長として活動されている富良野自然塾の環境教育実践事例のほか、大自然のフィールドの中で五感を鍛えることを通じて環境について考えることの大切さや、次世代を担う青少年に期待することなどをお話いただきました。また、パネルディスカッションでは、グローバル社会の中で「環境マインドを持った次世代リーダー」として活躍するために、これからの青少年に求められること、そのために必要な環境教育とはどういうものか、環境教育を実践するためのフィールドについて、有識者や現役大学生が活発な意見交換を展開しました。

なお、今回の「コカ・コーラ環境フォーラム 2008」ならびにコカ・コーラ環境教育賞団体の活動内容は、コカ・コーラ教育・環境財団ホームページ(<http://www.cocacola-zaidan.jp>)で9月中旬より掲載されるほか、番組「小学校 99 年生～ボクらの夏休み～」として、北海道文化放送とBSフジで放送される予定です。なお、放送日時は以下の通りです。

「小学校 99 年生～ボクらの夏休み～」

- ・放送局: 北海道文化放送
- ・放送日時: 2008年9月30日(火)14:30-15:00

- ・放送局: BSフジ
- ・放送日時: 2008年10月半ば(予定)



雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

コカ・コーラ環境フォーラム 2008

- ◆ 第15回コカ・コーラ環境教育賞表彰式(栗山町)
 - ・日時 8月23日(土)10:00～12:00
 - ・会場 総合福祉センター「しゃるる」
 - ・名義 主催:(財)コカ・コーラ教育・環境財団 協力:読売新聞社 後援:文部科学省、環境省

- ◆ 自然体験プログラム(栗山町)
 - ・日時 8月23日(土)13:00～16:30
 - ・会場 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」ほか
 - ・名義 主催:(財)コカ・コーラ教育・環境財団 協力:栗山町、NPO 法人雨煙別学校、後援:文部科学省、環境省

- ◆ 公開シンポジウム(札幌市)
 - ・日時 8月24日(日)13:00～16:00
 - ・会場 道新ホール(札幌市)
 - ・名義 共催:コカ・コーラ教育・環境財団、東京学芸大学 後援:文部科学省、環境省

コカ・コーラ環境教育賞表彰方法

名称	表彰内容
①コカ・コーラ環境教育賞	正賞:楯、副賞 30 万円、表彰式ご招待
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を中心とした活動であり、組織化されていること ・活動が実践的かつ継続的であること ・地域ボランティア活動または学校の授業・課外活動であること ・自然を理解し、自然から知識を学ぶ活動または環境を保全する活動、研究であり、野外での実践を通じて地域社会に広げる、繋がる活動であること 上記の選考基準を満たし、推薦された中で特筆される活動内容であった団体・個人	
②コカ・コーラ環境教育賞奨励賞	正賞:表彰状、副賞:3 万円
活動内容が上記コカ・コーラ環境教育賞に準じたもので、また将来の発展性が期待されている団体・個人	
③コカ・コーラ環境教育賞主催者賞	正賞:表彰状、副賞:1 万円相当
上記に至らなかった推薦候補の団体・個人 ※過去の受賞者を除く	

コカ・コーラ教育・環境財団

日本のコカ・コーラシステムは、1994 年より任意団体としてコカ・コーラ環境教育財団を設立し、青少年への環境教育・啓発を目的に、自然保護活動を行っている個人や団体を顕彰、情報ネットワークの支援、フォーラムの開催などを実施してきました。そして 2007 年に日本でコカ・コーラ産業が事業を開始して 50 周年を迎えたことを契機に、コカ・コーラ環境教育財団と日本コカ・コーラボトラーズ育英会を統合し、環境教育・教育支援、スポーツ振興活動など、コカ・コーラの多様な社会貢献活動を一元的に運営、推進するために「財団法人コカ・コーラ教育・環境財団」が設立しました。

「心豊かでたくましい人づくり “Healthy Active Life”」を理念に、次世代を担う青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成に貢献することを目的に事業活動を行います。

名称:	財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
英字名称:	The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
理事長:	縄 英明
所在地:	東京都港区六本木 6-2-31
ホームページ:	http://www.cocacola-zaidan.jp